

令和7年10月 市長定例記者会見

2025年10月3日(金)

午後1時30分 開始

【広報広聴課長】 それでは定刻となりましたので、ただいまから市長定例記者会見を始めさせていただきます。

初めに、市長よりご挨拶申し上げます。

【市長】 夏がやっと終わった感じが出てきまして、秋ということで、敦賀市、夏も結構イベントがあるんですけども秋にもイベントが多いまちでして、今週末、10月5日の日曜日にはJoy Joy敦活フェスタというのがあります。これは皆さんも、毎年やっているんで取材もしていただいたことがあるかと思うんですけども、敦賀市を中心に活動されている市民活動団体が集まってやるというイベントですので、また皆さん、ぜひ行っていただけたらなど。結構、市民の方も定着しているので遊びに行くような、そういうフェスタになっていますので、取材もしていただければいいかなど。

それから今度、10月12日の日曜日、これも民間の事業所さんや市民活動団体、それから行政が連携して、健康的なライフスタイルについて考えるというか応援するようなイベントのすこやかマルシェというのが、これは初開催になりますけれども、そういうものがあります。

それからその次の週、19日の日曜日には、第44回の敦賀マラソン大会が開催されます。これは県内外から多くの参加者をお迎えしまして、気比の松原とか港の周辺を走っていただく、そういうイベントになっています。

10月の主なイベントというのはそういうことですので、本当に秋のいい気候の中、市民の皆さんと一緒に我々行政のほうも応援しながら敦賀を盛り上げていきたいというふうに思っております。

また取材のほうとか、よろしく願いいたします。

私のほうからは以上です。

【広報広聴課長】 続きまして、事業発表に移ります。

Out of KidZania in つるが 2025の開催について、お願いいたします。

【市長】 昨年度も開催しましたOut of KidZania in つるが 2025ということで、昨年度は北陸3県では初めての開催ということだったんですけども、これも皆さん見ていただいたかと思いますが、子どもの職業とか社会体験施設のキッズニアさんの監修を受け

た仕事体験イベント、Out of KidZania in つるがということで、敦賀の事業所さんだったりとか団体さんにブースを設けていただいてやるということです。

開催日時は、12月6日土曜日と7日日曜日の10時から16時。会場は、今年はきらめきみなと館。昨年は敦賀市の総合運動公園の体育館だったんですけども、今年はきらめきみなと館をメイン会場として、それから農業の仕事など一部のプログラムは現地を会場としまして開催をするということです。対象は、小学校1年生から中学校3年生。参加料は1プログラム当たり500円ということになります。

ホームページから参加申込みをしていただくという必要がありまして、申込みについては11月2日からは市民限定の申込み、それから定員に余裕があるプログラムについては11月21日以降、市民以外の方についても参加を受け付けたいと思っています。

今回、出展数は26の事業者、団体を予定しておりまして、実際の業務に基づいた本当に楽しんでいただけるようなプログラムと準備を進めていただいています。

昨年も本当にいっぱい来ていただいたんですけども、今年も多くの小学校、それから中学校の皆さんに参加していただいて、市内にどういう仕事があるんだということを体感していただく。それから、保護者の方の理解も深めていただくというようなイベントにしたい。将来的には、そういうことがきっかけとなって敦賀市で働いてみようというような、そういう定住政策につながっていけばいいかなと、定住効果につながっていけばいいかなと思っています。

私のほうからは以上です。

【広報広聴課長】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問をお受けいたします。最初に幹事社さんからお願いいたします。

【記者】 去年に続いて今年もということですけども、去年の実績だったり事業者さんとか市民からの反応というのがよかったから今年もということだと思んですけど、具体的にどういった意見があったとか、ありましたら教えていただけたらと思います。

【市長】 去年も事業者さん、団体さんのブースというか参加のほうは26事業者ということで、大体去年と同じぐらい今年も参加していただいている。少し入れ替わりはあったりするんですけども。

あと去年の実績でいうと、参加者のほうは1,000人を超えて延べ人数で1,049人。ここに保護者の方も来ていただいているということで、本当に体育館などは、すごく会場はにぎわっていたと思います。

私も現地へ見に行ったんですけれども、非常に反応がよくて、評判がよくて、誰の評判がいいかという、子ども、それから保護者の参加者の評判もよかったんですけれども、ブースを出していただいた事業者さん、それから団体さんの評判もすごくよくて、我々とする、いい反応ばかりのありがたいイベントだったということもあって、来年もぜひという声もあったので今年もこうやってやらせていただくということになります。

事業者さんとか団体さんの反応がいいというのは、やはりこれから自分たちがやるリクルート活動とかにも生かせるとかそういうお声もありましたし、結果として、小学校とか中学校の子どもなので、今すぐ結果が出るわけではないんですけれども、将来的にこういうことを通じて、敦賀にこういう仕事があるんだとかそういうことを知ってもらうことによって、敦賀で働いてみたいなということを高校を卒業してから、大学を卒業してから思ってもらえたらなと思っているというところです。

【広報広聴課長】 それでは次に、各社より質問をお受けしたいと思います。何かございますでしょうか。ございませんか。

それでは次に、フリーの質問対応に移りたいと思います。初めに、幹事社さんからお願いいたします。

【記者】 先月の25日に再発防止プロジェクトの最終報告があって、その後、ホームページでも市民の方にも見られるように、職員の方にもご意見を募りたいというようなことで、よりよいものにとということがあったかと思うんですけれども、1週間ほどたちまして、ホームページの全体での評価だったり、どんな意見が寄せられているか、お聞かせいただけたらなと思います。

【市長】 直接まだそこまで意見は集まってないかなと思っているんですけれども、一部聞いているところでは、おおむね評価していただいているのではないかなと思います。しっかりいろんなことを考えてつくられたんだなということが本当に伝わるような報告書になっていると思いますので、そういう意味では肯定的に捉えていただいているような気はします。

ちょっとこうしたらとか、ああしたらみたいなお意見もいただいたりはしているんですけれども、これも報告書を受け取ったときに申しあげましたけれども、あそこでゴールとは思っていないので、実際またあと運用を始めたときに、何か思ったよりうまくスムーズにいかないとかいうこともあるかなというのがありますので、運用を始めた上で、ちゃんと改良とか改善というのはしていきたいなと思っていることが一つと、もう一つが、

その前に、今回いろんな相談とかでもルートをつくったんですよね。いろんなケースを想定しながらルートをつくったんですけれども、そのこと自体を職員さんにもっともっと知ってもらおう活動というか、そういうことも必要なのかなということもご意見をいただいているので、これからまだまだ意見とかも出てくるかと思えますけど、そういったことを踏まえて、あれがちゃんと実効性のあるものにしていきたいなと思っています。

【記者】 もう一つなんですけれども、日本原電が11月を予定していました再処理工場の原子力規制委員会への説明が遅れるということで、2026年度の完成目標は維持するという事だったと思うんですけれども、全原協の会長として何かご所感があればお伺いします。

【市長】 そうですね。今のところ2026年度という最後のところのスケジュールについては変わりがないということを言われているので。ただ、今この段階でそうやって11月に収まらないみたいな話があると、やはり少し心配というか、しっかりと26年のゴールに向けて頑張ってもらいたいなと思いますので、その審査対応だったりとか、今オールジャパンでやると言われていますので、そこについてはしっかりと、さらに強化しなければいけないなら強化するしというような、26年ゴールに向けて、しっかりとした対応をしてほしいなと思っています。

【広報広聴課長】 それでは次に、各社より質問をお受けしたいと思います。何かございますでしょうか。

【記者】 今の質問の再発防止PTからの最終報告の件で、遺族の方へのご報告というのが前回でまだだったということだったんですけれども、その後されたのかという部分と、もしされたのであれば、遺族の方の反応とか、少しお聞かせいただけたらと思います。

【市長】 遺族の方への説明は、させていただきます。率直に申し上げると、日程調整の関係もありましたので、今日の午前中にさせていただきます。

終わってすぐにプロジェクトリーダーの堤副市長から説明をしたんですけれども、中身については、おおむね肯定的な評価をしていただいております。

幾つか、それを見て、少し気がつかれた点とか、ちょっとアドバイスのなところというのもいただいているんですけれども、今オープンにしているのかどうかというのもあるので、アドバイス、ご意見は少しいただいたということだけ申し上げたいと思います。

【記者】 関連しまして、市議会で議員さんからの一般質問の中でもあったかと思うんですけれども、ご遺族の方から、市の責任についての代理人の方からの意見書のようなもの

が届けられたと質問の中であったかと思うんですけども、その内容と市の対応方針について教えてください。

【市長】 いただいているものはあるんですけども、今後、法的な問題というか、そういうことを多分していくことになるのかなと思いますので、内容については、ちょっと今は差し控えさせてもらったほうがいいですかね。

今言われた文書は、いただいているということだけ申し上げておきます。

いずれにしろ、その内容とかについても、法的なところとかこれから出てくると思うんですけども、我々もしっかりと対応していきたいと思っています。

【記者】 自民党の総裁選ですけども、明日、選出される見込みですけども、福井県ですと県選出国會議員ということで、滝波さんは林さんを推されているというのは態度を明確にされているかと思えますし、あと県議会の自民党会派は高市さん支持ということで一致されていると思うんですけども、市長、自民党員だと思うんですけども、市長のお考えと伺いますか態度は、現時点でどのようにお考えでしょうか。

【市長】 投票の秘密を守ろうと思うんですが。ここ何年かで、自民党の例えばエネルギー政策とかも少し収れんしてきたというか、今回はあまりそこが争点にもなっていないくて、違いがないという言い方もあるのかもしれないけれども、何か収まる場所に収まってきたのかなというのは、今回の総裁選の議論を見ていて思うところはあるんですね。

私、今、この人がいいと思いますと言うつもりは全くないんですけども、あとは、前から国政選挙のときとかもこうやって聞かれると申し上げているんですけども、もうちょっと社会保障とかそういうことの議論というのがもっと聞きたいなというのはありません。

別に報道関係の方に苦言を呈するわけではないんですけども、いろんなスキャンダルの話がいっぱい出てきていて、そこがクローズアップされることもあるんですけども、もちろん新聞とかを読んでいると一番大きく紙面を割かれているのは政策的なところがしつかり割かれているのは重々分かっているんですけども、どっちかというテレビとかを見ているとなんですかね、ちょっとワイドショー的な感じで、もうちょっとそこじゃないところを聞いてくれるといいんだけどな、そこじゃないところが知りたいんだけどなというところがなかなかこっちに伝わってこないというところがあるので、本当に骨の太い議論をしてほしいし、それが我々に伝わってくるといいなというのは、最近の総裁選挙だったりとか、あるいは国政選挙を見ていてすごく思うところですね。

そういうところで違いとかが出てくると、それが僕らの投票の判断にもなるのかなと思うんですけども、私なんかはそこにすごく興味があるけれども、その議論があまり見えてこないというのは残念だなと思っています。

それは候補者の責任もあるかもしれませんが、もう少しそこら辺を議論してほしいなというのは思っていますね。

【記者】 実はほとんど同じことを聞こうと思っていたんですけども。

今もう市長が半分おっしゃったとは思いますが、今回の総裁選でよく指摘されているところで、持論を封印する候補者が多いというところで、正直ほとんど差が見えないというところで、収まる場所に収まったという見方もできるでしょうけど、そうでもないところもやっぱりあるのかなと。票の欲しさでなっているところもあって。

なので、その辺の議論について、本来であれば、昔と違って今はもう即、総理大臣を選ぶ選挙ではなく、今の時点でそうなので、いろいろそういう性格もあるのかもしれませんが、そういった議論の進み方についてお感じのところがあれば。

【市長】 私も一番初めは印象として、何か持論を封印したのかなとか、そういうのも思ったんですけども、でもこれって解釈として、さっき言ったように収れんしてきたということなんじゃないかなと今は思っていますというのが今の質問に対する私の答えですね。

多分そういう意味でいうと、持論を持っていらっしゃった方とか、極端な何かの意見を持っていらっしゃった方もいたんでしょうけど、ここ何年かのいろんな議論とか、それは国政選挙だったりとか総裁選挙だったりの議論をしていく中で、自分の意見を変えられたりとか、そういうこともあったんだろうなと思います。

そういう社会の状況とか情勢に合わせて、さっきの私の表現で言うと、自民党の議論が、例えばエネルギー政策に関しては収れんしてきたのかなという、そういう解釈をしていますが、私は。

もっと言うと、そういうことをぜひぜひ社会保障とかそういうことでもやっていただいたらいいんじゃないかなというのを思っていますということです。

【記者】 あと国政の話題で、これはもし意見があればという程度なんですけれども、ここは衆議院2区になりますけど、2区で立候補されていた斉木さんが離党されて、新しい会派、あるいは新しい党の設立ということを打ち上げられていますけど、基本的にはやはり日本維新の会という民意を受けての当選だったはずなので、ある意味では、有権者の中

では、せっかく投じた票が無駄になってしまったという方もおられるのかもしれないなどというところもある中で、これは2区だけじゃなくて北信越全体の票なので、それを敦賀市長に聞くというのもどうなのかとは思いますが、もしそこにご意見が地元の一市長としてあれば、教えてください。

【市長】 制度上、今ああいうような形で、離党したとしても議員でいられるということなので、今の制度上でそれを、いろんなお考えの中でそれをやったというところは、ご判断なのかなと受け止めるんですけども、逆に選挙の制度上これでいいのかなというのは正直思っています。

それは今回の例だけでなく、今までずっとそういう例がある中で、比例で通ったんだよねというところは一般論としてずっとつきまとうとは思いますがね。

【記者】 クラブのほうから、明日、総裁選出後、市長コメントというか、全原協会長としてコメントをいただくことになっておりますので、まだ新総裁が決まる前にこんなことをお聞きするのもあれなんですけれども、小泉進次郎さんは有力かなと……。

【市長】 そうなんですか。

【記者】 分かりませんが、お一人かと思うんですけど、今回の討論ではちょっとあれかもしれませんけれども、以前は将来的な脱原発とか、依存度の低減とか、そういったことも志向されていたというか主張されていたことがあるかと思えますけれども、改めて全原協のお立場として、どなたがなるにせよ、くぎを刺しておきたいことといたしますか、新総裁に望みたいこととしてはどういったことでしょうか。

【市長】 どなたが当選されようとも、くぎを刺すわけではないですけども、今やはり我々が地域の、我々でいうと原子力発電所があり、それから石炭火力の発電所がありというところで、地域経済に与える影響というのもエネルギー政策は大きいんですよ。特に敦賀なんかは大きいと。

その中で、僕らが何を見ながら地方のエネルギーとの付き合い方をしていくのかということ、それはやはりエネルギー基本計画を見ながら、国としてのエネルギー政策の方向性というのはこれなんだなということを見ながら、我々も地元のことをやっていく、地域のことをやっていくというのがあるので、どなたが総裁になろうとも、どなたが総理になろうとも、そのところでエネルギー基本計画の中に書いてあることというのを着実に進めていってほしいなと思っているというところです。

それこそ今、自民党ということ言えば、5人の候補の方というのは、大体言われてい

ることはエネルギー基本計画に書いてあることと同じようなことを言われているなという印象を持っていますし、これがまた政権交代でも起これば、それこそ計画の見直しだとかいう話にもなりかねないので、それはまた別の話としてはあるかもしれませんが、現在の総裁選挙に関してどのように思っているかというように、しかも総裁が今、野党のほうはなかなか一致して総理候補を出す感じではないという中で、第一党の自民党から総理が出る可能性が非常に高い今の状況の中で申し上げますと、エネルギー基本計画に書いてあることを着実に進めてほしいなということになります。

【広報広聴課長】 ほかがございますでしょうか。

それでは、以上をもちまして市長定例記者会見を終了いたします。

ありがとうございました。

午後1時55分終了